



2023-2024 週報

西脇ロータリークラブ 2680 地区



No.43 第2821回 令和6年6月17日

今週の歌:それこそロータリー

プログラム 「会員卓話」

井上勝彦会員、プログラム委員会

会長 高瀬幸一郎 幹事 東口喜樹
例会日 月曜日 12:30-13:30
例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000
事務局 西脇商工会議所内
〒677-0015 西脇市西脇 990
Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

RI テーマ : CREATE HOPE in the WORLD ~世界に希望を生み出そう

6月10日(月) 第2820回例会記録

◎お客様 三木みどりRC 藤田雅哉様
三木みどりRC 大林憲吉様

◎出席・・・会員数 48名 出席 40名 MU 1名
(出席免除会員 9名・休会 3名)

◇三木みどりRC

藤田雅哉会長

1年間お世話になり
ありがとうございました



お祝い

藤井治幸会員

ご子息様結婚お祝い



会長の時間 高瀬幸一郎会長

昨日の小旅行で足立美術館を堪能いたしました。美しい庭園と横山大観の世界にしばし時を忘れました。足立美術館では、横山大観ですが、西脇では横尾忠則です。BSNHKで横尾忠則氏の特集番組を見ました。西脇が輩出した著名人、芸術家ですし、番組のいたるところで郷里西脇が登場してきましたので、興味深く視聴させていただきました。あれくらいの人となれば、さぞオーラが溢れているのではないかと感じてしまいます。番組では彼らしい深い考えを述べられているシーンがございましたが、発するその言葉は播州弁で



す。お顔はその辺に歩いておられるおじさまと同じです。でもひとたびキャンパスに向い創作活動に入られますと「横尾忠則」です。

本日はそのオーラについて、私の好きな楠木健氏の著書から拝借してご紹介させていただきます。

「オーラの正体」とは何か。結論から先に言いますと、受け手側が勝手に感じるものです。その人がオーラを放っているわけではないのです。当人にそのつもりはないのに、周りの人が「うわー、オーラが出ている」と言っているだけというのが本当のところ。オーラというのは周囲の注目や関心を反射しているだけ。自ら発しているというよりも、周りの人が勝手に仕込んでいるモノであるということです。オーラとは微妙に異なる特性に「カラフル」があります。カラフルな人は、その人がいるところだけ陽が差しているように見え、見た目もカッコいいのですが、実際に接してみると爽やかさが半端ではなく、同じ空気を吸っているだけで気分が良くなります。オーラは受け手側の認知で慣れてくると感じなくなったりする一過性のもですが、カラフルさはその人自身のもつ特質ですので、変わることはありません。「オーラ」「カラフル」の次は「圧を感じる人」です。その人の迫力というか活力というか気迫というか、それを圧と感じて受け止める場合が多々あります。時として静かな圧もあります。

次は「凄みのある人」です。オーラもカラフルさもなく、圧に至ってはむしろマイナスな普通過ぎるぐらい普通のひとなのですが、接していくうちにその人の凄さがじわじわくるくるひとのことです。表

面的にはでてきませんが知れば知るほど凄みを感じる人には、ある種の畏怖を感じます。この正反対にあるのが、オーラを一生懸命出そうとしている「オラオラ」のひとです。「俺は凄いんだ」と気張るのですが、すぐ見抜かれます。オラオラを強めるほどオーラを感じないという皮肉なことになります。

オーラやカラフルさや凄みのある人ほど、自分が他人からどう思われるかに興味がないものです。会長の時間のネタが受けなかったことを気にする私には到達できそうもない偉人たちの境地です。ということで私は、ポールハリスはカラフルな人、米山梅吉は凄みのある人に勝手に分類しました。ちなみに高瀬パストガバナーによりますと、ポールハリス、米山梅吉、横山大観のお三方は明治元年生まれの同歳とのことです。勉強になりました。

幹事報告

(来 信)

本日は、来信はありません。

(報 告)

- ・嶋田幸直会員、後藤高広会員から退会届けが提出され、理事会で承認されました。6月30日をもって退会されます。
- ・6/9、親睦小旅行で足立美術館に行って参りました。参加者は25名でした。ご参加いただきました皆様お疲れ様でした。

委員会報告

○親睦活動委員会 笹倉照暉委員長

6月30日(日)、高瀬会長杯ゴルフ大会をパインレークゴルフクラブで開催します。参加者には本日、組合せをお配りしていますので、ご覧ください。その中で一人キャンセルが出ましたので、参加できる方があればお申し出ください。よろしくお願ひします。

ニコニコ箱

藤田雅哉様(三木みどり RC)

本日はお世話になります。1年間ありがとうございました。

大林憲吉様(三木みどり RC)

本日もお世話になります。園田さん、先日の5RCではお世話になりました。

高瀬会長、東口幹事、1年間ありがとうございました。

藤本会員

小旅行をキャンセルしてすみません。

高瀬(英)会員

小旅行ではお世話になりました。高瀬年度も残りわずか、最後までしっかりとお願いします。

来住(泰)会員

お世話になりました。車中のハイボールにて夢心地の中、雨上がりの庭園と横山大観の絵を堪能しました。

矢納会員

昨日の親睦旅行で皆様方にお世話になり、楽しい1日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

高瀬(幸)会員

小旅行では笹倉親睦委員長にお世話になりました。ご参加された皆様、ありがとうございました。

東口会員

昨日の小旅行では、笹倉委員長はじめ、皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

吉田会員

小旅行、笹倉委員長お疲れ様でした。皆様にはお世話になりました。

蘆田会員

先週は園田会員にお世話になりました。ありがとうございました。

数原会員

昨日は、妻と娘二人もお世話になり、ありがとうございました。副賞もたくさんいただきました。

笹倉会員

昨日はバス旅行お疲れ様でした。

藤原(都)会員

小旅行では会長はじめ皆様に大変お世話になりました。とっても楽しかったです！

後藤(直)会員

前回例会では笹倉会員にお世話になりました。また園田会員にもお世話になりました。

※本日のニコニコ

39,000 円

誕生祝・結婚記念日祝・連続出席祝

10,000 円

※本年度累計額 (6/10 現在)

1,853,595 円

🌸 本日の花：トルコギョウ

プログラム

「会員卓話」

○細田俊之会員

ここ数年で新入会員も多数入会されておりますので、自己紹介を兼ねて話をしたいと思います。

私の家は、江戸時代の享保年間



から造り酒屋を営んできまして、戦後、酒造業はやめておりましたが、繊維業が景気も良かったので父は織物業と合織業を始めました。私の幼い頃は、近所の人からは私の家は、酒屋と屋号で呼ばれておりましたが、次第に綿業とか会社名で呼ばれるようになっていきました。

私は、大学卒業後は家から出て、都会で働きたいと思っておりましたが、兄姉が家業を継がなかった事、繊維工場も従業員を抱えておりましたので、末っ子の私が継ぐことにしました。

私の経営しておりました綿布工場では、見込み販売といって、西脇の産元商社を通さずに、ドビー仕様の60台程の織機を導入して自社で柄模様をデザインして製造販売しておりました。その時のやり方は納期もなく、オールA反出荷で結構儲かっていたのですが、途中から売れなくなっていき在庫が倉庫に入りきれないくらいになりました。そこで、今度は西脇の産元商社の賃織りに変えていくことになりました。その当時、エアジェット織機といって、糸を空気で飛ばして超高速で織り上げる織機が販売されておりましたので、私の工場でも30台程導入して、3交代24時間操業で年間生産量は180万から200万メーターを織り上げて、西脇の産地でも有数の生産量を織っておりました。しかしながら、私の工場で扱っておりました平織物で大量生産するというビジネスモデルが輸出の減少等、時代の流れに通用なくなってきました。電気代、人件費等の経費が嵩んでいく一方で、売上が減少していく状況の中、播州織の将来性を考え、本当に悩みましたが、黒字のうちに閉鎖するという理念の元、綿布部門は閉鎖することにしました。本社工場の工場は取り壊し、工場跡には太陽光発電を設置して太陽光発電事業を、国道沿いの40フィートの海上コンテナを積載できるトレーラーが入庫できる倉庫は神戸の貿易会社に、他のテナント等は地元業者に賃貸にまわしております。

時間が余りましたので、本日はみずほ証券の中川支店長との卓話の担当ですので、少し株式投資の話をしたと思います。私は、会社四季報、経済誌等を読んで、企業分析をするのが好きです。自分が買いと分析した会社の株価が上昇した時は、私の分析は正しかったのだと市場から成績表の優をもらった気持ちになります（不可もありますが…）。私も還

暦も過ぎましたので、株式分析は、頭の体操になりますので、頭の体操を兼ねながら、これからも微力ですが、株式市場という日本経済の汗の一滴にたれたいと思っております。

○中川良太会員

西脇に来て早いもので2年経過いたしました。ロータリーでは様々な業種の経営者の方々のお話が聞けて非常に勉強になっております。



卓話のテーマが自身の職業について、ということなので簡単に社歴含めてご紹介させていただきます。2005年にみずほ証券に入社し、営業マンを2支店、営業課長を1支店、その後、人事の仕事を経て西脇に参りました。証券会社を志望した理由について少し触れさせていただきます。就職活動をするにあたって、父親が銀行員であったこともあり漠然と金融業界に親近感がわいておりました。そんな中で『貯蓄から投資』や『間接金融から直接金融』などといった言葉を聞いて、これからは銀行より証券の時代だと思い証券会社に入社致しました。この『貯蓄から投資』という言葉は2001年からスローガンとして掲げられており、簡単に言うと「銀行預金、郵便貯金をやめて株式、債券、投資信託を買おう」ということです。この背景にあるのは日本の個人金融資産に占める投資の割合が先進諸外国に比べて圧倒的に低かったということです。当時の日本の預貯金の比率は54%程度、投資関係は14%程度であり、投資の文化が根付いている米国は預貯金が11%、投資関係が56%と比率が全く逆になっていました。欧州の一部の国でも日本と同様の課題を抱えておりましたが、それでも20~40%程度を投資が占めていました。

先日、会長の時間で高瀬会長からインフレについてお話がありました。その際に賃金上昇、官民一体、スタグフレーションなどがキーワードに挙がっておりましたのでその点をテーマにお話させていただきます。

2001年頃の日本の個人金融資産残高（家計）は1,400兆円程度でした。同じ時期の米国は32兆ドル（当時の為替130円程度で計算して4,000兆円）でした。足もとでは日本が2,100兆円に対して、米国は118兆ドル（150円計算で1京8,000億円弱）と

なっております。日本が 1.5 倍の増加に対して米国は 3.5 倍となっております。

大きく差が開いてしまった一番の要因は家計のバランスにあります。端的に申し上げますと投資の割合が多い米国人が投資の成果によって資産を大きく増やした格好になっております。家計と切っても切り離せない関係にあるのが消費です。日本の GDP のうち消費が占める割合は 50%強、米国は 70%程度となっております。米国の場合は①投資の割合が高い→②中長期で資産が増える→③増えた資産が消費につながる、といった図式が成り立っていることがわかります。当然、消費の反対側にいる企業にとってもモノやサービスの需要が増えるということですから、企業業績が伸びていく要因になります。企業業績が伸びれば株価は上がりやすい、イコール投資家の資産が増えていくという好循環が生まれてきます。

また、企業にフォーカスすると日本と違い、企業が儲かればその分従業員の給与にしっかり反映させる点が挙げられます。それにより柔軟にモノやサービスの価格を上げられるという点も挙げられると思います。収入が増えていけばインフレにも耐えられる、ということです。具体的には日本の平均年収はこの 20 年間でほとんど変わっていないのに対して米国は 2 倍程度まで増えております。昨今の政府による企業への賃上げ要請もこの点を意識したものであり、デフレからの脱却と賃上げサイクルを両輪で狙っているものと考えます。外部要因から始まったインフレではありますが、これを機に大きく方向転換したいと考えているのではないのでしょうか。

もう一点の課題である投資が普及しない点についてですが、大きな要因として国民の金融リテラシーや投資に対するイメージ（バブル崩壊の強いイメージ、株は博打など）が挙げられると思います。

こういった状況を打破すべく、それこそ官民一体となって大きく変化が生まれようとしております。金融リテラシーの観点では、2 年前の卓話でもお伝えした通り、学校での金融教育の義務化が始まりま

した。また、投資家のイメージといった点では他国では極めて稀な方針を 2023 年に東証が発表いたしました。内容は資本コストや株価を意識した経営について言及しているものです。すなわち株主の方をしっかりと見ながら経営をしていくことです。その結果、上場企業による株主還元の一環として増配や自社株買いを発表する企業が増加しました。それに加えて、投資の裾野拡大や投資のメリット拡充を狙って、NISA の制度も抜本的に変更されました。この点は有田会員の卓話でもあった通りです。

以上のように 20 年経過してやっと、大きな変化が起こり始めています。徐々に物価上昇に対して消費者は慣れ始めてきておりますが、スタグフレーションに陥らないためにも、継続的な賃金上昇、家計の増加が必要です。資産所得倍增プランと銘打ってまさに官民一体となって投資環境の大幅な整備が進んでおります。

この変化にいち早く反応したのが国内投資家ではなく外国人投資家でした。特に東証の発表以降、日本の企業の体質改善に期待した資金が大きく日本市場に流れてきました。その資金流入が足元までの日本株の大きな上昇の要因になっているといえます。一方で、この期間に国内の投資家はずっと売り越しが続いている状況です。家計を豊かにするためにはこういった状況を変えていく必要があると実感しております。

トピックス

◎ 6月9日(日)、親睦小旅行で足立美術館に行ってみました。参加者 25 名は美しい日本庭園や横山大観を始めとする日本画を熱心に鑑賞されました



今後のプログラム

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 6月24日(月) 「最終例会」 | 会長・幹事・SAA |
| 7月1日(月) 「クラブフォーラム」 | 会長・会長以外・幹事・クラブ管理運営・職業奉仕 |
| 7月8日(月) 「クラブフォーラム」 | 社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕・R財団・米山・雑誌広報プログラム |
| 7月15日(月) 休会 | |

高瀬会長のテーマ：職業人としてプライドを持とう！